

# 第Ⅰ期・Ⅱ期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

平成25年4月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(回転円板法)
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	25 m³/日
埋立地面積	42,900 m²	汚水調整池容量	1,200 m³
埋立地容量	391,955 m³	目標	BOD
技術管理者名	金澤亮	水質	S S
			30 mg/l
			60 mg/l

## 埋め立てた廃棄物の種類及び数量

一般廃棄物(可燃・不燃混合)	587 t	239 m³
あわせ産廃 ばいじん(下水汚泥焼却)	○ t	○ m³
汚泥(下水汚泥、無機汚泥)	1 t	○ m³

## 堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日		
○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		

点検結果 ○：異常なし ×：異常あり ●：改修済

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

## 地下水及び放流水の水質測定結果

(単位／PH：— 大腸菌群数：個/cfr その他の項目：mg/L)

分析項目	放流水	地下水A	地下水B	分析項目	放流水	地下水A	地下水B
水素指数(PH)	7.2	/	/	シアノ化合物			
生物化学的酸素要求量(BOD)	2.4	/	/	PCB			
浮遊物質(SS)	2.2	/	/	有機懐化物			
大腸菌群数	96	/	/	トリクロロエチレン			
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)		/	/	テトラクロロエチレン			
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)		/	/	ジクロロメタン			
フェノール類		/	/	四塩化炭素			
銅		/	/	1,2-ジクロロエタン			
亜鉛		/	/	1,1-ジクロロエチレン			
溶解性鉄		/	/	シス-1,2-ジクロロエチレン			
溶解性マンガン		/	/	1,1,1-トリクロロエタン			
クロム		/	/	1,1,2-ジクロロプロペン			
フッ素		/	/	1,3-ジクロロプロペン			
窒素	42.9	/	/	チウラム			
隣	0.1	/	/	シマジン			
総水銀及びその化合物				チオベンカルブ			
アルキル水銀化合物				ベンゼン			
カドミウム及びその化合物				セレン及びその化合物			
鉛及びその化合物				塩素イオン			
六価クロム及びその化合物				電気伝導率	11.6	154.2	
砒素及びその化合物				地下水採水年月日	平成25年4月30日		

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。

備考2) 地下水Aは第Ⅱ期埋立地Bルート側、地下水Bは第Ⅰ期埋立地側の設置井戸より採水。

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

# 第Ⅲ期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

平成25年4月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(接触曝気法)	
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	30 m <sup>3</sup> /日	
埋立地面積	16,240 m <sup>2</sup>	汚水調整槽容量	2,877.4 m <sup>3</sup>	
埋立地容量	97,000 m <sup>3</sup>	目標	BOD 20 mg/l	
技術管理者名	金澤亮	水質	S S	30 mg/l

## 埋め立てた廃棄物の種類及び数量

一般廃棄物(可燃・不燃混合)	O t	O m <sup>3</sup>
あわせ産廃 ばいじん(下水汚泥焼却)	O t	O m <sup>3</sup>
汚泥(下水汚泥、無機汚泥)	O t	O m <sup>3</sup>

## 堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日		
○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		

点検結果 ○：異常なし ×：異常あり ●：改修済

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

## 地下水及び放流水の水質測定結果

(単位／PH：— 大腸菌群数：個/cfr その他の項目：mg/L)

分析項目	放流水	地下水A	地下水B	分析項目	放流水	地下水A	地下水B
水素指数(PH)	7.8			シアン化合物			
生物化学的酸素要求量(BOD)	6.2			PCB			
浮遊物質(SS)	0.6			有機懐化合物			
大腸菌群数	6			トリクロロエチレン			
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)				テトラクロロエチレン			
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)				ジクロロメタン			
フェノール類				四塩化炭素			
銅				1,2-ジクロロエタン			
亜鉛				1,1-ジクロロエチレン			
溶解性鉄				シス-1,2-ジクロロエチレン			
溶解性マンガン				1,1,1-トリクロロエタン			
クロム				1,1,2-ジクロロプロペン			
フッ素				1,3-ジクロロプロペン			
窒素	47.5			チウラム			
隣	0.1			シマジン			
総水銀及びその化合物				チオベンカルブ			
アルキル水銀化合物				ベンゼン			
カドミウム及びその化合物				セレン及びその化合物			
鉛及びその化合物				塩素イオン			
六価クロム及びその化合物				電気伝導率			
砒素及びその化合物				地下水採水年月日	11.3	13.4	平成25年4月30日

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。

備考2) 地下水Aは第Ⅲ期埋立地上流側、地下水Bは第Ⅲ期埋立地下流側の設置井戸より採水。

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等